

**国文祭・芸文祭みやざき2020「宮崎の食文化」講演会等実施業務委託
仕様書**

1 概況

国文祭・芸文祭みやざき2020フォーカスプログラム「宮崎の食文化」に関する講演会をはじめ各種プログラムを実施する。

2 委託期間

契約締結日から令和3年11月29日（月）まで

3 プログラム概要

- (1) だれやみ文化大学「宮崎の食の魅力、酒場での人との出会い」（以下「だれやみ文化大学」）
 - ① 日時：令和3年8月28日（土）、29日（日）
 - ② 会場：日南市文化センター、服部亭、日南市飢肥
 - ③ 内容：酒場詩人である吉田類氏が焼酎、だれやみ文化をテーマに宮崎の食や地域の魅力、文化について対談する。吉田類氏を交えた交流会や翌日の散策企画を実施する。
- (2) 食文化シンポジウム～みやざきの食がカラダとミライを創る～（以下、「食文化シンポジウム」）
 - ① 日時：9月23日（木）秋分の日
 - ② 会場：メディキット県民文化センター 演劇ホール
 - ③ 内容：本県出身の松田丈志氏による講演とパネルディスカッションの2部構成で「スポーツランドみやざき」における「みやざきの食」がアスリートの競技力向上や県民の健康増進を支えていることを「みやざきの新しい食文化」として発信する。
- (3) 「宮大サツマイモ企画」
 - ① 日時：8月21日（土）
 - ② 会場：宮崎大学地域デザイン棟スタジオ・ルーム
 - ③ 内容：サツマイモの研究について、県外含む複数箇所を結び、サツマイモへの関心や大学での研究の面白さを伝えるオンライン講座を実施する。

4 業務概要

上記「3 プログラム概要」に記載する各プログラムの企画、準備、実施運営を行う。各プログラムの共通業務について記載し、個別の仕様については後述する。

(1) 企画・準備・実施運営

- ① 宮崎の食の魅力が十分に伝わるプログラムとすること。
- ② 出演者や会場、日時については、県と関係者の決定を踏まえ調整すること。
- ③ 会場演出や設営、必要な備品（マイク、プロジェクター、パソコン等）の手配及び出演者との調整など各プログラムの開催に係る調整、運営、進行等を行う。
- ④ 各プログラムの全体管理マニュアル、進行台本等を作成し、司会進行や舞台運営を行う。
- ⑤ 講演者への旅費・謝金の支払いや交通手段の手配、送迎、アテンドを行う。
- ⑥ 本プログラムの概要や出演者等のプロフィールなどの情報等を記載した冊子を作成し、当日配付する。出演者が指定するレジュメや配付資料を印刷し配付する。

- ⑦ 聴衆の受付や会場整理等当日の円滑な会場運営、交通整理を行う。
- ⑧ 来場者アンケートの作成、印刷、配布、回収を行い、集計を行う。
- ⑨ 感染拡大予防のための業種別ガイドライン等に則した感染防止策を講じる。
- ⑩ 各プログラムの参加人数は、開催時期の感染状況を考慮し県と協議の上判断する。
- ⑪ その他各プログラムの開催に必要な一切の業務を行う。

(2) 広報

- ① 各プログラムの開催目的や出演者のプロフィール等を記載したチラシ、ポスターをそれぞれ作成する。
 - ア デザインは出演者や講演内容がわかり、多くの方が興味関心を持ち、わかりやすいデザインであることを前提とする。
 - イ 見る人に宮崎の食の特色や強みを PR できるメッセージ性の強いデザインを提案すること。
例) 食文化シンポジウム：宮崎の食がスポーツ選手を始め、未来の身体をつくっていることを訴える。
 - ウ 作成部数は各プログラムの参加人数に応じて、広報のため必要とされる枚数を提案すること。今後、企画提案者と協議の上決定する。
 - エ 各イベント開催の3箇月程度前までに紙と電子データで納品する。
 - オ 作成したチラシ・ポスターを多くの方に周知できる場所へ設置・配付する。各プログラムにとって効果的な周知・広報活動が可能な場所や配布先を提案すること。
 - カ チラシのサイズはA4版、両面、カラーとする。
 - キ ポスターの作成は、だれやみ文化大学と食文化シンポジウムのみとする。
- ② 新聞、WEBサイト、広報誌等を活用した広告を行う。
- ③ 申込者数が定員に満たない場合には、個別に集客対策を行う。
- ④ 委託料の上限額の範囲内で、各提案競技参加者の強みを生かした効果的な広報展開について提案すること。

(3) 募集及び参加申込の受付

各プログラムの参加者申込受付を行う事務局を開設し、次の業務を行う。

- ① 各プログラムの入場料は基本無料とする。
- ② 原則として事前申込制。申込の受付や入場券の交付及び参加申込者名簿の作成を行う。
- ③ 応募多数の場合は申込は抽選とし、当選者への入場券交付をもって当選発表とする。
- ④ 申込方法については、電話やハガキ、インターネット等複数の方法で行う。
- ⑤ 申込についての電話等による問い合わせの対応を行う。

(4) 成果品の作成

成果品の納入場所は、県が指定する場所とし、成果品についての権利は県に帰属する。製作にあたっては、県と十分な連絡をとりながら行う。

- ① 事業実績報告書 2部
- ② アンケート集計結果 2部

- ③ その他各プログラムの指定する成果品 1式
- ④ ①～③の電子データ 1式

(5) 情報保障について

障がいのある方達への情報保障に配慮すること。県は手話通訳者・要約筆記者の派遣を要請している。ただし、この項目の経費に関しては、受託者からの提案内容を受けて協議の上決定することとし、現在提示している委託料の限度額に含まない。

5 経費

原則として、出演者への謝金及び旅費を含む全ての経費を委託料に含む。出演者の謝金及び旅費、会場費用等の費用については企画提案競技の対象とせず、事前説明会参加者に情報を提供する。そのほか次の業務ごとに計上すること。

- (1) 共通業務に係る経費
- (2) 「だれやみ文化大学に関する業務」に係る経費
- (3) 「食文化シンポジウムに関する業務」に係る経費
- (4) 「宮大サツマイモ企画」に係る経費

6 その他

- (1) 委託業務実施に当たっては、県及び関係者と十分に連絡を取りながら進めること。
- (2) 自然災害や新型コロナウイルス感染症等の影響により、事業の一部又は全部が実施できない場合は、委託者と受託者とが協議の上、契約の変更をする場合がある。
- (3) 本仕様書について疑義が生じた場合、又は定めのない事項については別途協議する。

各プログラム仕様書

1 「だれやみ文化大学」

(1) 企画概要

- ① 日時：令和3年8月28日（土）、29日（日）
- ② 会場：日南市文化センター、服部亭、日南市飫肥
- ③ 内容：吉田類氏に「焼酎」「だれやみ文化」をテーマに、宮崎の食文化の魅力や酒場でのエピソードを語っていただく。

また、吉田類氏と県民の交流や地域の魅力再発見を目的に、吉田類氏を交えた交流会や日南飫肥の名所を巡る散策企画を実施する。

- ④ 講演内容：「酒場での人との出会い」「宮崎の食と酒の魅力」「宮崎と他の地域の比較」「番組でのエピソード」「詩、文化」等
- ⑤ 講演者：吉田類氏（酒場詩人）、伊藤一彦氏（歌人）
- ⑥ 定員：日南市文化センター：600名 宴会：20名 散策：10名
- ⑦ プログラム構成

8月28日（土）

- ・日南市文化センター（15：00～17：00）

講演会（対談）（15：00～16：30）

吉田類氏と伊藤一彦氏による酒場や焼酎、地域の文化などをテーマとする対談

- ・服部亭（日南市飫肥4丁目3-19）

吉田類氏を交えた交流会（18：00～20：00）

8月29日（日）

- ・吉田類氏と日南飫肥散策企画（10：00～12：00）

(2) 「だれやみ文化大学」に関する業務

次の業務を含む開催に当たっての運営、管理等の一切を行う。

- ① テーマ設定は、出演者に確認の上別途協議を行い決定する。
- ② 募集人数は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し半数とする場合がある。
- ③ 講演会以外の演目は参加料を徴収する。なお、新型コロナウイルス感染状況を考慮し参加人数や開催の可否について判断する。
- ④ 交流会や散策企画は、カメラマンを随行させ、記録を撮影すること。
- ⑤ 出演者の旅券、宿泊先の手配を行うこと。宿泊先は翌日日南市内の企画に参加するため、日南市内とする。
- ⑥ 交流会は多数の応募が見込まれるが新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、交流会のオンライン中継など多くの応募者が安全に楽しめる形式、手法について提案すること。
- ⑦ 出演者や参加者が日南市飫肥を楽しみつつ、新しいこと知ることができる散策経路やテーマ、体験について提案を行うこと。
- ⑧ 県や宮崎の焼酎PRを目的として、本企画の写真や動画等の二次利用や本企画を活用した広報を検討している。企画内容や活用方法について提案すること。

2 「食文化シンポジウム」

(1) 企画概要

- ① 日時：9月23日（木）秋分の日
- ② 会場：メディキット県民文化センター 演劇ホール
- ③ 内容：本県出身の松田丈志氏による講演とパネルディスカッションで「スポーツランドみやざき」における「みやざきの食」がアスリートの競技力向上や県民の健康増進を支えていることを「みやざきの新しい食文化」として発信する。
- ④ 出演者・関係者
講演者：松田丈志氏（元水泳選手）
パネリスト：松田丈志氏（元水泳選手）、郡司行敏氏（行政関係者、元副知事）、
竹井倫世氏（飲食店経営）、岡田光氏（生産・加工業者）、
野村勝政氏（福祉保健・医療関係者）
コーディネーター：ヘルスケア関係企業（渋谷健氏）
協力：栄養士集団キャッツアイ
- ⑤ 定員：1100名
- ⑥ プログラム構成

第1部 松田丈志氏講演『競技人生を支えた「みやざきの食」について』

本県の食が競技人生をいかに支えたか、実体験を踏まえ語っていただく。

- ・アスリート時代やその後の取材経験の中で、選手から聞いたみやざきの食への評価
- ・スポーツだけでなく、体の成長に不可欠な栄養摂取の重要性

第2部 パネルディスカッション

「スポーツ×食×ヘルスケア」をテーマに、スポーツにおける食の役割や、今後の宮崎の食のあり方について議論する。

ア スポーツにおける栄養摂取の重要性

- ・スポーツにおける栄養摂取のメリット（競技力向上、怪我の予防など）
- ・キャンプ地、合宿地における食事の重要性
- ・本県におけるアスリートフードの現状（レシピ作成、サービス提供など）

イ スポーツだけではなく、私たちの日々の生活における運動・食事の重要性

- ・各ライフステージにおける生活習慣の課題
- ・子どもたちへの栄養指導、栄養バランスのとれた食事のメリット
（発育・病気、怪我の予防・競技力向上など）
- ・生活習慣改善のメリット（運動・栄養・休養のバランス、医療費抑制）

ウ まとめ

宮崎の食が、合宿やキャンプで「スポーツランドみやざき」へ訪れる多くのアスリートやスポーツ愛好家を支えていることを「宮崎の新たな食文化」として発信する。栄養バランスの良い日々の食事が、生涯にわたり私たちの健康で豊かな生活を支えることを再認識する。

(2) 「食文化シンポジウム」に関する業務

次の業務を含む開催に当たっての運営、管理等の一切を行う。

- ① シンポジウムに係る台本の作成については、出演者等に確認の上別途協議の上決定する。
- ② 募集人数は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し半数とする場合がある。

また、(一社)宮崎県教職員互助会から協賛をいただいております(一社)宮崎県教職員互助会会員向けに優先席を確保する。座席数は別途伝達する。

③ 食文化シンポジウムと連携した企画・宮崎の食のPR業務

ア 当日の会場を活用し、本シンポジウムの理解を深める内容の展示や、宮崎の食文化をはじめとした県が取組む食に関する事業を紹介するブースを設置する。上記テーマに合致し、参加者が関心を持つ展示物や効果的な配置方法について提案すること。

イ 南九州大学が県や企業と連携し、共同食品開発・販売を予定している。今年度は、アスリート向けの食品をテーマとして作成予定。南九州大学の取組の紹介や開発した食品とシンポジウムを絡めた企画や広報について提案すること。

詳細は説明会にて伝達し、実施については県と南九州大学が協議の上決定する。

ウ その他「宮崎の食」が合宿やキャンプで「スポーツランドみやざき」へ訪れる多くのアスリート、スポーツ愛好家を支えていることや、栄養バランスの良い日々の食事が生涯にわたり私たちの健康で豊かな生活を支えることを浸透させる企画や広報について提案すること。

3 「宮大サツマイモ企画」

(1) 企画概要

- ① 日時：8月21日(土)10時から12時まで(90分講義)
- ② 会場：宮崎大学地域デザイン棟スタジオ・ルーム(講演会場、25名)
宮崎大学創立330記念ホール・コンベンションルーム(視聴会場、50名)
- ③ 内容：サツマイモの研究について、県外含む複数箇所を結び、サツマイモへの関心や大学での研究の面白さを伝えるオンライン講座を実施する。
- ④ 定員：参加者は会場とオンラインによる視聴が可能。
会場は30~50名程度(高校生等を募集する。)、オンラインは最大100名程度
- ⑤ 講演者、パネリスト
 - ・宮崎大学教授：講演者、サツマイモの育種や花について
 - ・石川県立大学生物資源環境学部教授：兼六芋と製品(和菓子)の紹介
 - ・沖縄県農業技術センター：サツマイモの花を観察
 - ・酒造会社(宮崎市)：酒造見学、宮崎大学と共同開発した焼酎
 - ・甘藷生産会社(串間市)：宮崎大学との産学連携研究、圃場見学

(2) 「宮大サツマイモ企画」に関する業務

次の業務を含む開催に当たっての運営、管理等の一切を行う。

- ① オンライン環境を利用する業務である。以下の場所にオンライン中継に必要な環境・機器を整備し適切な人材を配置する。県外への機器搬入やスタッフ派遣は検討していないが、各施設の状況によって追加となる場合がある。
 - ア WEB環境：酒造会社(各大学、公共施設はWEB環境が整っていることとする。)
 - イ カメラマン：宮崎大学の講演会場(講演者撮影)、酒造会社
 - ウ 画面管理：宮崎大学の講演会場
- ② 各パネリストとの調整は県、宮崎大学が行う。

- ③ 会場実施とオンライン配信のハイブリット型で実施する。新型コロナウイルス感染拡大等により会場での実施が困難な場合は、オンライン配信のみの講演となる。
- ④ 事前申し込み制とする。オンライン環境に不慣れな受講者のため、視聴方法の解説等のサポート体制を取ること。
- ⑤ 配信した動画は、一定期間国文祭YouTubeにて公開する。動画を提出すること。
- ⑥ 参加者に記念品（サツマイモ等）を事前に送付する予定。
- ⑦ 本企画を円滑に実施するため、開催日までの準備スケジュールや当日の実施運営、適切なオンライン環境や機器について競技者の経験を元に提案すること。
- ⑧ 企画名について、オンライン視聴アプリ利用者が企画に関心を持ち、参加したくなるような名称を提案すること。名称は提案を元に宮崎大学と協議の上決定する。